

220号線の沿線は地盤がもろいなど、道路のルートを決めるにも十分な調査が必要です。一部マスキミでは昨年の動きを事業凍結の延長だという報道が行われていたましたが、昨年の調査費が付いた時点で事業化への土台は固まりつつあったと考える方が妥当です。

○聞き手…これまで220号線の防災事業に関してどのように関わってこられたのですか？

○外山…凍結決定が下された時は野党でしたが、国交省の担当官に何度も地元の声を伝えていました。

しかし、野党という事、また当時の自民党政権の決定ということもあり、決定が覆るといふことはありませんでした。だからこそ、政権交代を起こしてこの問題を解決したいと思っていました。その後政権交代が起こり、与党として問題解決に向けて具体的に動いてきました。民主党宮崎県連から党本部へ重点項目として五つ上げるのとが出来るのですが、220号線の重要性を訴え、五つの重点項目の一つとして党本部へ上げてきました。そのことで、党の幹事長室や国土交通大臣へ要望として届けることが出来たのです。また、国

交省の担当官の方へも幾度となく自分の思いを含め話をしてきました。そういった甲斐もあって、昨年、今年と合計七千万円もの調査費が付き、事業化となったことはとても嬉しく思っていますし、地元出身の議員として、当時の自民党政権が凍結した220号線の防災事業を再開出来た事で、「政治の力」というものを改めて感じさせられました。

○聞き手…県内の道路整備を心待ちにしている住民の方々へ一言お願いします。



○外山…今年度国土交通省の公共事業は十二%、六兆三四七六億円削減されています。その中において、宮崎には上限いっぱいのおきな予算が付いております。「コンクリートから人へ」という言葉から、もう宮崎には道路は造られないとの誤解を受けてきました。しかし民主党では、地方の議員を中心にミッシングリンクを解消する議員連盟が立ち上がっており、私も宮崎の責任者として関わっております。我々は、地方での道路事情が良くないということには十分認識していますし、それをいち早く解消させなければなりません。今回の予算付けはまさにその認識の表れです。今後もしっかりと取り組み一日も早い完成を目指していきまので、野党の誹謗・中傷には耳を貸すことなく、我々に安心して任せていただきたいと思います。

○聞き手…これからも宮崎の発展のため、ますますの活躍を期待しています。

○外山…今回の凍結解除実現のように、地域の声をしっかりと反映できるように頑張っております。

連絡先

〒880-0013

宮崎県宮崎市松橋1丁目16-11 カルナコート1F

参議院議員 外山イツキ 事務所

☎0985-22-5877 fax0985-22-5822

○ホームページ

<http://www.izki-toyama.com>

ブログも随時更新中!

「いつきブログ」で検索!!